

## 2 大宮北遺跡 出土土器について

大宮北遺跡第8次調査 RD008土坑から、あかやき土器環および高台付環が多く出土した。その出土土器には完形品ではなく、ことごとく割れしており、意図して打ち欠いたと見られる破片も見られることから、土器廃棄の土坑と考えられる。あわせて、出土した土器の大半が環および高台付環であることから、一般的な集落ではなく、なんらかの儀式を行っていたことが想定される。

この土器群の年代について、若干の検討を加えることとする（第101図）。

大宮北遺跡の周辺域の、類似した土器群が出土した近隣の遺跡として林崎遺跡が上げられる。林崎遺跡は、志波城跡の北東に隣接し、旧河道の段丘崖に立地する。これまで、志波城跡の大溝や、外郭築地線から約1町（109m程）の距離を平行して走る大溝跡などの志波城期の遺構のほか、9世紀後半の集落、10世紀中葉の大形の掘立柱建物跡や木柵、竪穴住居跡などが検出されている。出土土器には、灯明皿に使われたと想定される黒色の炭化物が付着したものや「寺」墨書土器など特徴的な土器が一定量含まれること、周辺の集落にはあまりみられない大形掘立柱建物跡や木柵といった区画施設が見られることから、律令体制崩壊後の宗教的な権威を掌握した地域支配の拠点となる有力者の存在が想定される遺跡である。RA03・09竪穴住居跡出土土器群は、10世紀前葉に位置づけられ、RA02竪穴住居跡出土土器群は10世紀中葉に位置づけられている。

大宮北遺跡においては、林崎遺跡の掘立柱建物跡の規模には及ばないものの周辺集落には見られない規模の建物跡の存在と、極めて器種の限られた土器が出土している。大宮北遺跡出土土器群は、あかやき土器環と高台付環が主体を占める。環の法量の平均は口径12.8cm・底径5.2cm・器高4.0cm、高台付環の法量の平均は口径14.9cm・底径6.6cm・器高5.9cmをはかる。環は口径12cm前後のものが大半を占め、口径14cm前後の大形のものがわずかに含まれる。法量にはばらつきが見られず、ほぼ一定のものといえる。

大宮北遺跡一括出土資料と類似するものとして、奥州市の胆沢城跡 SE1050井戸跡第1層出土土器、同 SK155・152土坑出土土器、SX126焼土遺構出土土器がある。これらは、十和田a火山灰（10世紀前葉降下）との層位関係やその他の出土遺物との共伴関係から、10世紀第3四半期（10世紀中葉新段階）に位置付けられている。これらの土器群は、環と皿が小型化し、環の法量が口径10cm前後の小型環と、口径11～14cmほどの環の二極分化が進むとされている。一方、胆沢城跡 SD3110溝跡の十和田a火山灰上層出土の土器群には、口径9.2cmのいわゆる小皿が含まれている。この土器群とは、猿投窯東山72号窯式期併行相当灰釉陶器輪花碗が共伴しており、10世紀後葉古段階の年代が与えられており、胆沢城終末の土器群と位置づけられている。

胆沢城跡出土土器との比較においては、大宮北遺跡出土土器群は①口径がおよそ12cmと法量の一定化が見られるが、法量の大小二極分化がはっきりとは進んでいないこと、②器種が環と高台付環に限定され、小型環や小型皿が含まれないこと、から胆沢城跡 SE1050井戸跡第1層、同 SK155・152土坑、SX126焼土遺構出土土器よりもわずかに古い土器群と想定される。

また、林崎遺跡 RA02竪穴住居跡出土土器群と比較すると、環の法量が小型化していること、柱状高台付環が出土していること、などから一段階新しいものと考えられる。

大宮北遺跡  
第8次調査

林崎遺跡  
との比較

胆沢城跡  
出土遺物  
との比較

以上のことから、おおむね10世紀中葉新段階でも古い土器群と想定される。

大宮北遺跡は、林崎遺跡に後続する集落と考えられ、地域の拠点的な集落であった林崎遺跡から何らかの理由で移動して営まれたものではないだろうか。今後、発掘調査の進展に伴い、大宮北遺跡の全体像が明らかになることによって、志波城跡が廃絶しておよそ150年後のこの地域社会の様子が、よりいっそう明らかになると考えられる。

#### [参考文献]

- 井上雅孝 1997 「陸奥における10・11世紀の土器様相」『北陸古代土器研究第7号』北陸古代土器研究会  
伊藤武士 1997 「出羽における10・11世紀の土器様相」『北陸古代土器研究第7号』北陸古代土器研究会  
盛岡市教育委員会 1979 『太田方八丁遺跡 昭和53年度発掘調査概報』

大宮北遺跡		林崎遺跡		胆沢城跡	
10世紀前葉		RA03整穴住居跡出土	RA09整穴住居跡出土	SK155土坑跡	SK152土坑跡
		8 4 20 21 22 24 26 35 36	10 9 12 17 20 25 32 37 38	10 9 12 17 20 25 32 37 38	10 9 12 17 20 25 32 37 38
				SK155土坑跡	SX126焼土遺構
10世紀中葉		RA02整穴住居跡出土	RD008土坑出土		
		13 15 17 18 19 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51	21 (A面) 22 (A面) 23 (A面) 24 (A面) 25 (A面) 26 (A面) 27 (A面) 28 (A面) 29 (A面) 30 (A面) 31 (A面) 32 (A面) 33 (A面) 34 (A面) 35 (A面) 36 (A面) 37 (A面) 38 (A面) 39 (A面) 40 (A面) 41 (A面) 42 (A面) 43 (A面) 44 (A面) 45 (A面) 46 (A面) 47 (A面) 48 (A面) 49 (A面) 50 (A面) 51 (A面)		

第101図 大宮北遺跡および10世紀代の土器 (S=1:6)